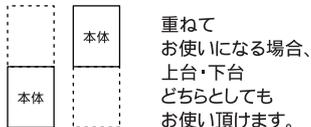
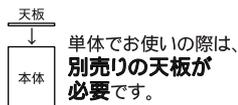


■本体／上台・下台 タイプ

巾600×奥行375×高さ870mm

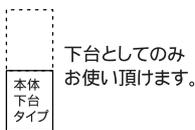
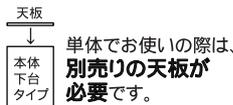


●開き戸

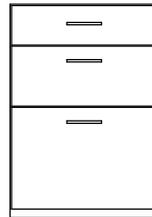


■本体／下台 タイプ

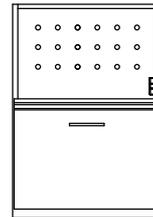
巾600×奥行375×高さ870mm



●チェスト



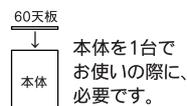
●オープン引出



■天板

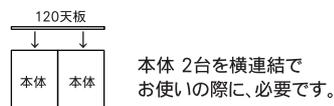
●60天板

巾600×奥行400×高さ30mm



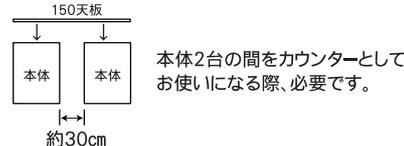
●120天板

巾1200×奥行400×高さ30mm



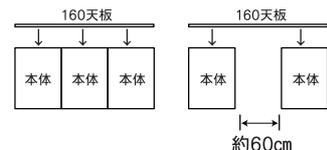
●150天板

巾1500×奥行400×高さ30mm



●180天板

巾1800×奥行400×高さ30mm



本体 3台を横連結でお使いの際、
又は、2台の間をカウンターとして
お使いになる際、必要です。

①使用上のご注意

家具の置き方

- 地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・床・天井等に固定金具や固定部材でしっかり固定して下さい。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをすることがあるので、置き方にご注意ください。
- 高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり(10cm位が望ましい)、部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱・冷暖房の強風などが直接当たらないようにして下さい。家具がゆがんだりする原因となります。
- 家具は水平を保つように置いて下さい。ガツツキのまま使っていると、扉の開閉や引き出しの出し入れがスムーズでなかったり、イスの強度が落ちる等、家具が壊れたりケガをする原因となります。
- 家具に転倒防止用の付属部品等が入っている場合は必ず取り付け方を確認の上、取り付けください。又、家具設置の安定性、転倒防止が確実に機能しているのを確認し、家具への収納等を行ってください。
- ガラスを使用した商品はお手数ですが設置の際、必ずガラス【欠け】の有無を確認して下さい。

ご使用にあたって

※本商品は、決して本来の目的以外には使用しないで下さい。又、乳幼児がいる場合は、一人で扱わせしないで下さい。

- 加熱したなべや湯沸し等を直接置かないで下さい。
- 家具の上にとんだり、とんだり、踏み台代りに使ったり不安定な姿勢で掛けたりしないで下さい。安定をくずし倒れてケガをする事があります。
- 引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下ったりむりな力で引っ張ったりしないで下さい。家具が倒れてケガをする事があります。
- 引出しが付いている場合、これをいっぱい引出すとぬけ落ちてケガをする事があります。
- 扉、引出しを2ヶ所以上、同時に開けて使用しないで下さい。商品の手前側に比重がかかり商品が前倒れし、ケガや破損の原因につながる恐れがあります。

- 安全にご使用頂くために、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれら併せてよく読み、正しくご使用下さい。又、これらを保管し必要な時にお読み下さい。

- 木材の接着剤等(刺激臭)が残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす事がありますので、換気を充分にして取り除く様にして下さい。特に乳幼児の衣料等を収納される場合はポリ袋やビニール袋等に入れたままの状態でご収納して下さい。

- 取りはずしのできる棚は、棚受具を確実に取り付けして下さい。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち破損やケガをする事があります。

- 家具を移動する時は、落したり倒したりして、物をこわしたりケガをする事がない様に、大人2人でしっかり持って運んで下さい。特に脚付きの家具は注意して運んでください。床面のキズや家具の破損の原因となります。

- 電気製品等を収納する場合は、充分に隙間をあけて通気性をよくし、コンセント部分は、定期的に掃除をして、ホコリなどが付着しないようにして下さい。電気製品の故障や火災の原因となります。

- 食器棚やレンジ台等についているスライド棚の上に乗ったり、腰掛けたりしないで下さい。転倒してケガや破損をする事があります。又、家具の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直して下さい。

- 商品使用中に、ガラスの【欠け】が生じた際は【欠け】の大小に関係なく使用しないで下さい。ケガや事故、並びに破損の原因となります。

保守・点検

- ネジ・丁番や脚取付金物等のネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみははじめたら、しっかり締め直して下さい。そのまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。又、家具の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直して下さい。

- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると害虫が拡大する恐れがあります。

コンセント付家具取扱い上のご注意事項

【警告】

- コンセントに表示されたワット以下でお使い下さい。容量を超えると焼損の恐れがあり、火災の原因となります。
- コードは、たばねて使用しないで下さい。焼損の恐れがあり、発熱により発火や火災の原因となります。
- 水のかかるところでは、使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。

【注意】

- 温度や湿度の高いところでは使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。
- ほこり、湿気の多いところでは、プラグを長時間差っばなしにしないで下さい。ときどきプラグの表面や栓切間を掃除してほこりを取り除いて下さい。発煙や発火の原因となります。
- カバーなどが割れたり、保持力が極端に弱い状態では、使用しないで下さい。感電や発火の原因となります。
- たこ足配線はしないで下さい。プラグが抜け易くなり、発熱により発火や火災の原因となります。
- 栓切の曲がったプラグを中途半端に差込まないで下さい。感電や発火の原因となります。
- コードをステッフル等で固定しないで下さい。コード内部の電源が切れて、破損や火災の原因となります。
- コードを無理に曲げたり、ねじったりしないで下さい。コードの内部の電線が切れて、破損や火災の原因となります。
- コードを家具にはさんだり、敷物の下にして使用しないで下さい。コードの内部の電線が切れたり、発熱により発火や火災の原因となります。
- コードを引っ張らないで下さい。コードの内部の電線が切れて(断線)、破損や火災の原因となります。
- コードに熱いものを近づけたり、加熱しないで下さい。感電や火傷する恐れがあります。
- コードを動かすと、点いたり消えたりする場合、また、コードが部分的に熱い場合は、コードの内部の電線が切れています。焼損・火災の原因となりますので使用しないでください。
- コードが傷ついたまま、使用しないで下さい。コードの内部の電線が切れて(断線)、破損や火災の原因となります。
- コードを戸を介して隣の部屋などへ引き回さないで下さい。コードの内部の電線が切れています。焼損・火災の原因となりますので使用しないで下さい。
- 洗剤や殺虫剤をかけないで下さい。発煙や火災の原因となります。
- 乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないで下さい。感電や火災の恐れがあります。

各種金具の取付方法・調節方法

※AFFOGATOシリーズ全ての製品にこの説明を同封しておりますので、記載に該当しない製品も御座います。

■連結金具取付方法

●横連結をする場合

本体同士を並べ、内側にある貫通穴をボルトと受ネジで連結して完成です。

●上下連結をする場合

(天板との連結も同様です。)

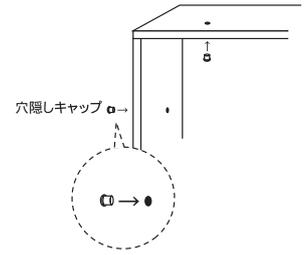
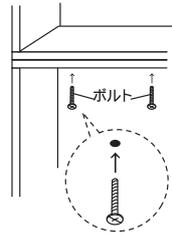
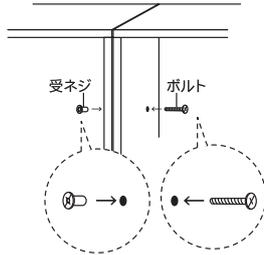
上台と下台を重ね、下台天井の貫通穴よりボルトで連結して完成です。

●連結をしない場合

それぞれの穴に、各1コずつキャップが付属されていますので、商品の設置位置や、重ねの状態に応じて、隠したい穴の外側、又は、内側のどちらかにキャップを付けて下さい。



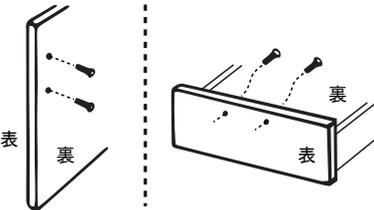
連結の内容によっては、連結金具に余りが出ます。
余った部品は、保管してください。



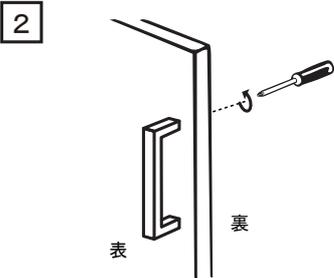
※ネジはゆるみやぐらつきがないか定期的に点検し、ゆるみ始めたらしっかりと締め直してください。

■ハンドル取付方法

- 1 【扉 イメージ図】 【引出し イメージ図】



扉もしくは引出しの裏側より、取り付けネジを差し込みます。

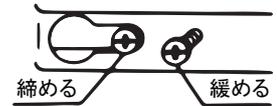
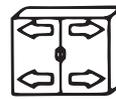


表側にハンドルを取り付けてください。
※プラスドライバーをご使用ください。

■扉の隙間の調整方法

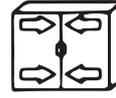
扉の隙間を調整する場合

扉の隙間を広げる



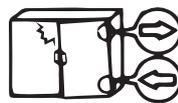
締める 緩める
ヒンジのネジを緩め座金のネジを締めてください。

扉の隙間を狭める



緩める 締める
座金のネジを緩めヒンジのネジを締めてください。

扉上部がぶつかる場合



上部の丁番は広げるように調整し、下部の丁番は狭めるように調整してください。

側板と扉があたってしまう場合



座金のネジを矢印の方向に寄せ微調整して下さい。
(目安として1~2mm程度)

■転倒防止ベルト取付方法

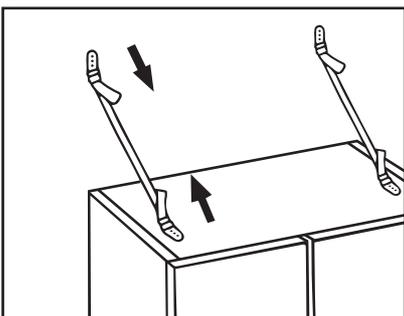
※本体を積み重ねて使う際にお取付ください。

- ①家具の天板上部と、壁に付属の木ネジで固定してください。

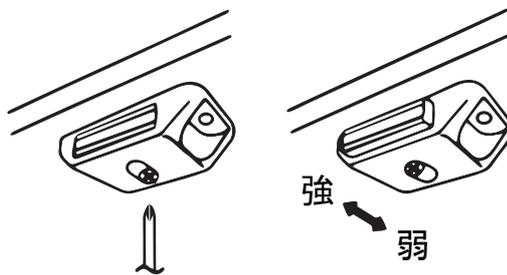
【注意】壁に取り付ける場合は、芯材のある箇所を選んで下さい。

- ②取り付け後、緩みのないようにベルトを調整してください。

- ③反対側も同じように取り付けてください。



■マグネットキャッチ強弱調整方法

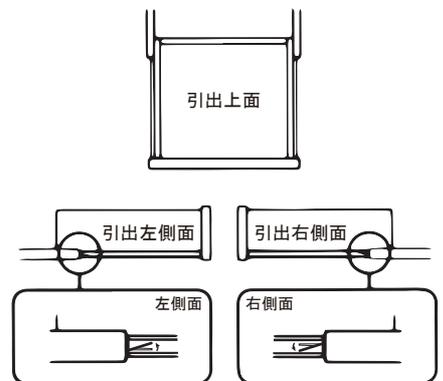


- ①扉を開きプラスドライバーでネジを緩めてください。

- ②扉の閉める強さを弱くする場合は後方に、強くする場合は前方にずらしてください。

- ③ネジを締め込み完了です。

■フルスライドレール取外し方法



- ①引き出しを最後まで引き出します。

- ②図のようにレバーを右側面は下に左側面は上に指で動かしその状態のまま引き出すと外れます。



株式会社B.Bファニシング
大阪府堺市堺区南清水町3丁目2-13
TEL:072-242-8455